

【発行元】

東野建設工業株式会社

〒020-0807

岩手県盛岡市加賀野2-8-15

TEL：019-623-5575

FAX：019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

工場・作業場の違いとは？特徴を分かりやすく解説！

建物の建設を検討する際、「工場」と「作業場」という言葉は似ているようで、法律上、そして実務上も大きな違いがあります。

製造業などのオーナーにとって、違いを理解することは、適切な事業計画、法令遵守、そして資金計画のために不可欠です。

ここでは、それぞれの定義から始め、8つの重要な観点からその違いを分かりやすく解説します。

そもそも、工場・作業場とは？

①工場とは？

工場とは、単なる建物を超え、「生産性を最大化するための装置」と定義できます。原材料の加工、部品の組み立て、製品の製造といった大規模かつ継続的な生産活動を行うための施設です。その中には大型の機械設備や生産ラインが体系的に設置され、多くの従業員が組織的に働いています。

②作業場とは？

作業場（または作業所）とは、工場に比べて比較的小規模で、主に手作業や小規模な機械を用いて特定の作業を行う場所を指します。

例えば、製品の修理、部品の加工、試作品の製作、工芸品の制作など、職人的な技術や専門的な作業に特化したスペースです。大量生産よりも、個別の注文への対応や専門技術が求められる場合に利用されます。

作業所の場合、自動車の修理工場や金属加工の町工場など、中小企業や個人事業主が施主となるケースが多いです。

建物自体の費用は数百万円から数千万円の範囲が多く、リース物件や居抜き物件を活用するケースも少なくありません。

作業内容の変化に対応できるようなフレキシブルな空間、専門的な工具や機械を安全に設置・使用できる電源や床の強度などが求められます。



工場と作業所の比較について

比較項目	工場 (Factory)	作業場 (Workshop)
1. 建物の面積	大規模（1,000㎡以上が一般的）	小～中規模（数10㎡～500㎡程度）
2. 工期	長期（1年以上が一般的）	短期（数ヶ月～半年程度）
3. 用途地域	工業地域・工業専用地域に限定	準工業地域など、比較的広い地域で可能
4. 施主の傾向	大企業・製造業が中心	中小企業・個人事業主が多い
5. 建設用途	製品の大量生産、大規模な加工	修理、試作、小ロット生産、手工業
6. 関係する法令	建築基準法、消防法、工場立地法、労働安全衛生法など多数	建築基準法、消防法など（事業内容により追加あり）
7. 価格帯	高額（数億円～数百億円）	比較的安価（数百万円～数千万円）
8. 求められる機能	生産効率、自動化、物流動線、安全性	作業スペースの確保、柔軟性、専門工具の設置場所

「工場」と「作業場」は、その規模、目的、法規制において明確な違いがあります。事業計画の初期段階で、自社が目指すのはどちらの形態なのかを正確に把握し、専門家と相談しながら進めることがプロジェクト成功の鍵となります。

また、どちらの建物を建設する場合でも、低価格・短工期・高品質を実現できるシステム建築やプレハブ建築は非常に有効な選択肢です。規格化された部材を使用することでコストを抑え、現場での作業を減らすことで工期を大幅に短縮できます。品質も安定しており、事業の早期スタートに大きく貢献するため、ぜひ検討をおすすめします。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

（お問合せ窓口：牟田、佐久山）

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで